



～通級指導教室案内～



通級指導教室って？

週1時間から2時間程度、困っていることや苦手なことの改善を目指して、個々のニーズに応じた指導を受ける教室です。

ことばの教室

小学校で指導しています。

○こんなお子さんのための教室です

- ・発音に誤りがある
例)「カラス」が「タラス」、「サカナ」が「シャカナ」等なんとなくはっきりしない
- ・吃音がある
- ・ことばの発達の遅れが心配
- ・ことばによるコミュニケーションが苦手

○こんな学習をします

- ・口唇や舌の動きをよくする学習
- ・聞く力を伸ばす学習
- ・正しく発音する力を伸ばす学習
- ・吃音に対する理解を深め、気持ちを表現する学習
- ・言葉の理解力を伸ばす学習

まなびの教室

小学校にまなびの教室を新設します。原則個別学習の形態で始めます。

○こんなお子さんのための教室です

- ・聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する等のうち、特定の学習が極端に苦手
- ・集中し続けることが苦手
- ・集団の中で行動することに不安を感じる
- ・予定の変更に対応することや感情をコントロールすることが苦手
- ・友達や人との関わりがあまり上手でない

○こんな学習をします

- ・自分に合った学び方を身に付ける学習
- ・聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する仕方を習得するための学習（単に教科の補充学習をする場ではありません）
- ・得意なこと、苦手なことなど自分のことを理解する学習
- ・学校生活への適応を目指す学習
- ・情緒の安定、気持ちの整理の仕方を身に付ける学習
- ・社会性や対人関係の力を伸ばす学習

～まなびの教室開始までの流れ～

①保護者面談

- ・家庭や学校で見られるお子さんの学習面や行動面での困り感を共有します。

②まなびの教室体験

- ・実際にお子さんにまなびの教室で体験してもらいます。(数週間～1ヶ月程度)

③振り返り 面談・電話等

- ・通級教室の体験の様子を家庭と学校で共有します。
(良かったところや困ったところ、不安なところなどを話し合います。)
- ・今後の方向性を相談し、利用意思の確認をします。

利用する場合

- ・指導内容や指導時間などを相談します。
- ・個別の支援計画や個別の指導計画の確認をします。

④教育委員会へ申請・決定

- ・学校から申請します。
- ・教育委員会にて最終決定します。



⑤通級指導開始

- ・家庭と学校で定期的な見直しをしながら、お子さんの成長を支えます。